

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年12月21日

計画の名称	高島市における良好な水環境の形成、総合的な浸水対策の推進（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	高島市												
計画の目標	高島市の下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 高島市の下水道施設の防災・減災対策を実施し、浸水等の災害に強い下水道の構築を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	115	A	115	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	高島市下水道施設耐水化計画（仮称）を策定し、朽木浄化センター・真空ポンプ場（3箇所）の耐水化率を0%から75%に向上させる。 処理場・ポンプ場の耐水化率の向上 耐水化済みの箇所数 / 下水道施設耐水化計画箇所数 : R3当初 0箇所 / 4箇所	0%	50%	75%

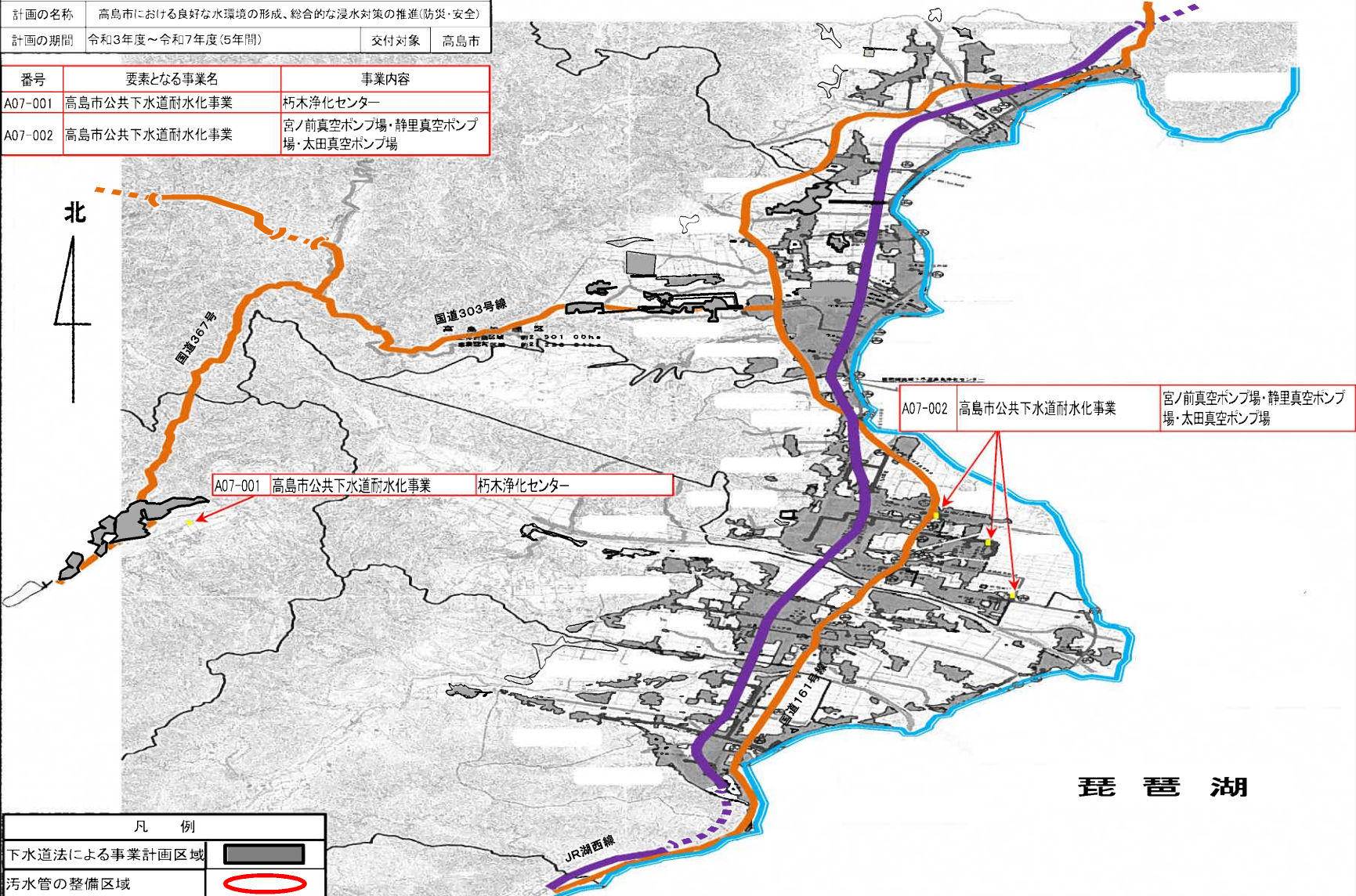
備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	○	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	高島市	直接	高島市	終末処 理場	改築	高島市公共下水道耐水化 事業	朽木浄化センター	高島市	■	■	■	■	■	57	—	
	A07-002	下水道	一般	高島市	直接	高島市	ポンプ 場	改築	高島市公共下水道耐水化 事業	宮ノ前真空ポンプ場・静里真 空ポンプ場・太田真空ポンプ 場	高島市	■	■	■	■	■	58	—	
											小計						115		
											合計						115		

25滋賀県212高島市(参考図面)水の安全・安心な基盤整備

計画の名称	高島市における良好な水環境の形成、総合的な浸水対策の推進(防災・安全)		
計画の期間	令和3年度～令和7年度(5年間)	交付対象	高島市

番号	要素となる事業名	事業内容
A07-001	高島市公共下水道耐水化事業	朽木浄化センター
A07-002	高島市公共下水道耐水化事業	宮ノ前真空ポンプ場・静里真空ポンプ場・太田真空ポンプ場



凡 例	
下水道法による事業計画区域	
汚水管の整備区域	
耐水対策対象箇所	

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 高島市における良好な水環境の形成、総合的な浸水対策の推進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1)基本方針（汚水処理施設整備構想、流総計画等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2)上位計画（事業計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1)地元情勢の変化を踏まえている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2)社会経済情勢を捉え、適正な計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4)指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1)費用対効果について十分に効果がある。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 1)供用開始区域の接続率の向上が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 2)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 3)地元住民の同意や要望がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 4)事業実施のための環境整備が図られている。	○